

平成25年度第1回起業家講演会（平成25年7月8日）

商業科（人間経済コース・経済情報コース）



講演者 池田誠子様



60分間の講演を最後まで熱心に聴き入る！

7月8日(月)、商業科(人間経済コース、経済情報コース)において、「憧れ 花のアトリエ」経営 池田誠子様を招いて、起業家講演会を開催しました。副校長の「開式のことば」に続き、池田氏から、先ず、大学卒業後、半年間、語学専門学校にてドイツ語を学び、ドイツバイエルン州にある国立花卉芸術学校において花留学し、マイスター試験に合格された話がありました。その後、ベルリンの高級フラワーショップにて1年修行され、帰国後、多額の借金をして現在の店を起業した話がありました。勉学や立ち上げにまつわる苦心したことなど、進路決定を控えた3年生は当然のことながら、全生徒にとって、非常に有意義な講話をして頂きました。特に、演題「起業に必要な3つのポイント!」、副題「これから誰にでもある、出会いとチャンス」について、多くの興味あるテーマに沿って、パワーポイントを使って、わかりやすくお話をして頂きました。



話しに魅了され、熱心にメモをとる生徒たち

今回の起業家講演会を通じて、生徒たちだけでなく、我々教員にとっても、大変有意義な時間を過ごすことができました。今後も、様々な職種の起業家をお招きして、生徒たち一人ひとりの「起業」の意識を高めるとともに、将来の起業家を目指す手助けになることができればと思います。なお、事後指導として、全生徒が感想文を書きました。各学年代表生徒の感想文を下記に掲載します。

起業家講演会を聴いての感想

商業科1年1組 広長 啓

起業家講演会を聴いて、私自身、起業に興味を持ちました。店や会社を起こす上で大切なことは、あきらめずに挑むことで、それを学ぶ良い機会になりました。中でも、心に残ったのは、会社は一人だけの力では成功しないということです。ただ一人頑張っても起業はできず、それを助けてくれるたくさんの人との出会いが必要であり、そこで働くスタッフなどの手助けなどによって、会社は成り立つのだと知りました。私も、出会いを大切にしたいと感じました。

また、借金を大量に抱えてしまった社長さんが、逃げずに挑むことで、ピンチをチャンスに変えて乗り越えた話には感銘を受けました。私も、社会人になったとき、あきらめずに挑戦できる人間に成長したいと思いました。

起業家講演会を聞いて

小沼美里（2年）

池田さんのお話を聞いて、お花に対する思いがとても伝わってきました。私が特に印象に残ったのは、群馬県から茨城県にきてドイツの芸術学校に行ったところです。他県に引っ越すことにも不安はあったと思いますが、それ以上に海外にまで勉強に行く勇氣に、私は感心してしまいました。また、「人は一人では生きられない」「様々な人との出会いがチャンスだ」という言葉が心に残りました。私も様々な人との出会いを大切にしていき、色々なことに勇氣を持って挑んでいきたいです。

起業家講演会でのお話を聞いて、起業に必要なポイントや出店計画がどのようなものなのかが詳しく分かりました。また、出会いを大切にする必要性や、社会ではどのような人材が求められているかを、学びました。私はまだ将来のことが詳しく決まっていないので、今回のお話を踏まえて考えていきたいと思います。

起業家講演会を聞いて

後藤陵紀（3年）

今回で三回目となる起業家講演会でしたが、今回の「花のアトリエ」を経営している池田さんの講演は、過去の二回とは全く異なった内容のものでした。過去の二回は、起業家の視点から、「求められる人材」についてのお話を頂き、大変勉強になりました。今回の講演は、池田さんが、御自身の体験から「起業した経緯」や、「起業後の心構え」について話してくださいというもので、将来起業したいと考えている私にとって、とても価値のある内容でした。

様々なお話を伺いましたが、中でも「迷ったら軸がぶれないように。軸がぶれなければ心配はいらない」という言葉が、私の耳に強く残っています。私は、まだ「起業したい」という漠然とした夢を掲げているだけで、「どこにどのような店を」などといった具体的なことが一切決まっておらず、不安に思うことも多かったのですが、このお話を聞いて、自分の夢を軸として捉え、それを強く持ち続けることで、自分の道を切り拓くことができることを知りました。さらに、池田さんが経営者になった時の心持ちや、起業後にあった様々な人との出会いについてのお話も聞くことができました。

今回の起業家講演会を聴き、起業家として大切なことを知ることができただけでなく、自分の進路に向けて、前向きに勉強していく覚悟が生まれました。とても有意義な時間を過ごせたと感じています。